

# 令和5年度学校評価【3者評価比較(生徒・保護者・教職員)】 令和6年3月29日

※ 4: そう思う(よい) 3: だいたいそう思う(概ねよい) 2: あまり思わない(不十分である) 1: そうは思わない(改善を要する) ( )は教職員

※ 評価結果について 4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

※ 構成比の数値は小数点以下第2位を四捨五入のため、集計値計が100%とならなかったり、評価結果が一致しない場合がある。

※ 令和5年(2023年)12月実施

項目	対象者	設 問 【学校全般について】	R 5		R 4		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった	全学年	74	B	72	B
			(普通科)	73	B	69	C
			(食物科)	85	A	85	A
			1学年	84	A	80	A
			(1学年普)	83	A	77	B
			(1学年食)	90	A	95	A
			2学年	79	B	66	C
			(2学年普)	78	B	62	C
			(2学年食)	91	A	83	A
			3学年	63	C	74	B
	(3学年普)	60	C	71	B		
	(3学年食)	80	B	82	A		
	保護者	子供が本校に入学してよかった	91	A	92	A	
教職員	生徒が本校に入学してよかったと思う学校づくりに努めている	98	A	93	A		
2	生徒	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている。	全学年	85	A	81	A
			(普通科)	85	A	78	B
			(食物科)	89	A	91	A
			1学年	91	A	84	A
			(1学年普)	91	A	82	A
			(1学年食)	100	A	91	A
			2学年	87	A	78	B
			(2学年普)	88	A	74	B
			(2学年食)	86	A	97	A
			3学年	78	B	82	A
	(3学年普)	77	B	81	A		
	(3学年食)	85	A	85	A		
	保護者	校舎や設備に満足している	60	C	68	C	
教職員	子供は本校の学校生活に満足していると思う	86	A	86	A		
教職員	生徒の高校生活が充実するように一人一人に目を向け指導している	93	A	86	A		
3	生徒	教育活動の内容や取組について十分伝えられている	全学年	76	B	80	B
			(普通科)	75	B	78	B
			(食物科)	86	A	83	A
			1学年	81	A	86	A
			(1学年普)	82	A	87	A
			(1学年食)	74	B	86	A
			2学年	81	A	74	B
			(2学年普)	79	B	72	B
			(2学年食)	95	A	86	A
			3学年	69	C	78	B
	(3学年普)	65	C	78	B		
	(3学年食)	86	A	79	B		
	保護者	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている	76	B	72	B	
教職員	シラバス・学習成績等、必要な情報を十分に生徒・保護者へ提供している	81	A	85	A		
教職員	懇談会や懇親会を含めて保護者との協力関係構築に努めている	81	A	75	B		

4	生徒	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う	全学年	86	A	86	A
			(普通科)	85	A	84	A
			(食物科)	91	A	95	A
			1学年	91	A	91	A
			(1学年普)	91	A	89	A
			(1学年食)	85	A	100	A
			2学年	89	A	82	A
			(2学年普)	87	A	79	B
			(2学年食)	100	A	94	A
			3学年	80	B	87	A
	(3学年普)	77	B	85	A		
	(3学年食)	89	A	91	A		
保護者	先生たちは、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う	86	A	87	A		
教職員	学校行事への生徒の意識向上を図るとともに、部活動や学校行事等へ積極的に参加している	85	A	93	A		
5	生徒	セレクト／プログラム制導入のカリキュラムに満足している	全学年	78	B	81	A
			(普通科)	76	B	76	B
			(食物科)	94	A	97	A
			1学年	89	A	93	A
			(1学年普)	89	A	93	A
			(1学年食)	95	A	100	A
			2学年	79	B	73	B
			(2学年普)	76	B	68	C
			(2学年食)	95	A	97	A
			3学年	70	B	76	B
	(3学年普)	65	C	69	C		
	(3学年食)	91	A	94	A		
保護者	本校の教育指導には満足している	83	A	84	A		
教職員	定期試験終了後の授業満足度調査によって授業改善を進めている	78	B	92	A		
	生徒にとって適切なカリキュラムを組んでいる	89	A	89	A		

項目	対象者	設 問 【学習について】	R 5		R 4		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	宿題や課題は適切な量が出されている	全学年	87	A	87	A
			(普通科)	87	A	86	A
			(食物科)	94	A	91	A
	保護者	子供は、日常的に家庭学習を確保している様子がうかがえる	54	C	53	C	
教職員	生徒が自学自習を自らできるよう、授業等を工夫している	93	A	82	A		
	スコラ手帳の活用を図っている	37	D	18	D		
2	生徒	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている	全学年	88	A	87	A
			(普通科)	86	A	85	A
			(食物科)	92	A	95	A
			1学年	92	A	88	A
			2学年	90	A	83	A
	3学年	82	A	92	A		
保護者	成績等学習状況に関する情報は得ることができている	86	A	84	A		
教職員	シラバスの内容充実を図り、それに合わせた授業実践を行なっている	89	A	86	A		
3	生徒	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる	全学年	77	B	78	B
			(普通科)	75	B	76	B
			(食物科)	92	A	89	A
			1学年	83	A	81	A
			2学年	82	A	77	B
			3学年	70	C	76	B
保護者	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う	74	B	80	B		
教職員	定期試験前後の成績不良・不振者への指導を充実させ、追試合格者数の向上を図っている	74	B	93	A		
	実力テストや模試において十分な事前・事後指導を行っている	48	C	57	C		

4	生徒	学習面での努力や成果を適切に評価している	全学年	85	A	86	A
			(普通科)	84	A	84	A
			(食物科)	92	A	91	A
			1学年	89	A	88	A
			(1学年普)	88	A	87	A
			(1学年食)	94	A	100	A
			2学年	86	A	81	A
			(2学年普)	86	A	79	B
			(2学年食)	91	A	88	A
			3学年	80	A	88	A
	(3学年普)	78	B	88	A		
	(3学年食)	92	A	88	A		
保護者	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている	90	A	93	A		
教職員	生徒の学習面での努力や成果を適切に評価している	100	A	96	A		
5	生徒	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している	全学年	87	A	76	B
			(普通科)	86	A	75	B
			(食物科)	92	A	78	B
			1学年	91	A	77	B
			(1学年普)	90	A	79	B
			(1学年食)	90	A	72	B
			2学年	90	A	71	B
			(2学年普)	90	A	69	C
			(2学年食)	96	A	79	B
			3学年	81	A	83	A
	(3学年普)	79	B	83	A		
	(3学年食)	91	A	82	A		
保護者	本校の学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している	86	A	86	A		
教職員	授業では、生徒の授業態度について、その都度、適切に指導している	89	A	93	A		
	授業や講習等における準備を十分に行っている	78	B	79	B		
	iPadや電子黒板等の電子機器及びBLEND、ロイロノート、LearningBox等を活用している	89	A	93	A		

項目	対象者	設 問 【進路指導について】	R 5		R 4		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している	全学年	82	A	79	B
			(普通科)	80	A	76	B
			(食物科)	90	A	91	A
	保護者	本校は生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している	88	A	84	A	
教職員	教科、学年、部活動、講習等を通して、進路の自己実現へ向けての意識付けを行なっている	96	A	96	A		
2	生徒	進路について必要な情報は得ることができている	全学年	81	A	81	A
			(普通科)	80	A	78	B
			(食物科)	83	A	92	A
	保護者	進路について必要な情報は得ることができている	73	B	68	C	
教職員	生徒・保護者へ進路に関する情報を適切に提供し、また教員間での情報共有に努めている	74	B	68	C		
3	生徒	進路に関する面談がよく行なわれている	全学年	75	B	76	B
			(普通科)	75	B	74	B
			(食物科)	79	B	80	B
	保護者	学校・担任に進路に関する相談はしやすいと思う	80	B	80	B	
教職員	生徒からの面接指導を含む進路に関する相談や作文指導、小論文指導等を計画的に実施している	96	A	93	A		

項目	対象者	設 問 【生徒指導について】	R 5		R 4		
			満足度	評価	満足度	評価	
			4+3 %		4+3 %		
1	生徒	時間を守り、欠席や遅刻をしていない	全学年	92	A	87	A
	保護者	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている	92	A	90	A	
	教職員	生徒が高校生らしい規律ある生活を送れるように指導している	100	A	100	A	
2	生徒	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている	全学年	86	A	91	A
	保護者	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている	88	A	95	A	
	教職員	いじめ対応も含め担当生徒一人一人を把握し、学年や指導部との連携を密にして指導を進めている	96	A	93	A	
3	生徒	本校は、挨拶や礼儀作法等の指導に真剣に取り組んでいる	全学年	86	A	86	A
	保護者	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる	81	A	82	A	
	教職員	本校の生活規律についての指導を生徒・保護者に理解させている	89	A	96	A	

# 令和5年度学校評価【学校自己評価（教職員）】

対象職員	27名
回答数	27名
回答率	100%

※ 4:よい 3:概ねよい 2:不十分である 1:改善を要する

※ 評価結果について 4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

領域	対象	4	3	2	1	計	4	3	2	1	満足度 4+3	R 5	R 4	
教育活動に係る評価	学習指導	1 生徒が自学自習を自らできるよう、授業等を工夫している	8	17	2	0	27	30%	63%	7%	0%	93%	A	A
		2 シラバスの内容充実を図り、それに合わせた授業実践を行なっている	4	20	3	0	27	15%	74%	11%	0%	89%	A	A
		3 シラバス・学習成績等、必要な情報を十分に生徒・保護者へ提供している	4	18	5	0	27	15%	67%	19%	0%	81%	A	A
		4 定期試験前後の成績不良・不振者への指導を充実させ、追試合格者数の向上を図っている	5	15	6	1	27	19%	56%	22%	4%	74%	B	A
		5 定期試験終了後の授業満足調査によって授業改善を進めている	6	15	5	1	27	22%	56%	19%	4%	78%	B	A
		6 教科内連携を充実して指導の均等化を図り、評価判定等の充実を目指している	5	16	5	1	27	19%	59%	19%	4%	78%	B	A
		7 生徒の学習面での努力や成果を適切に評価している	8	19	0	0	27	30%	70%	0%	0%	100%	A	A
		8 授業や講習等における準備を十分に行なっている	6	15	6	0	27	22%	56%	22%	0%	78%	B	B
		9 ノーチャイム制を意識し、授業の開始・終了時間をしっかり守って授業を行なっている	9	13	3	2	27	33%	48%	11%	7%	81%	A	B
		10 授業では、生徒の授業態度についてその都度、適切に指導している	14	10	3	0	27	52%	37%	11%	0%	89%	A	A
		11 授業では教進部の授業目標を理解し、実践している	6	16	4	1	27	22%	59%	15%	4%	81%	A	B
		12 生徒にとって適切なカリキュラムを組んでいる	5	19	3	0	27	19%	70%	11%	0%	89%	A	A
		13 スコア手帳の活用を図っている	2	8	13	4	27	7%	30%	48%	15%	37%	D	D
		14 iPadや電子黒板等の電子機器及びBLEND、ロイロノート、LearningBox等を活用している	15	9	2	1	27	56%	33%	7%	4%	89%	A	A
教育活動に係る評価	進路指導	15 教科、学年、部活動、講習等を通して、進路の自己実現へ向けての意識付けを行なっている	10	16	1	0	27	37%	59%	4%	0%	96%	A	A
		16 実力テストや模試において十分な事前・事後指導を行なっている	4	9	14	0	27	15%	33%	52%	0%	48%	C	C
		17 生徒・保護者へ進路に関する情報を適切に提供し、また教員間での情報共有に努めている	5	15	7	0	27	19%	56%	26%	0%	74%	B	C
		18 生徒からの面接指導を含む進路に関する相談や作文指導、小論文指導等を計画的に実施している	10	16	1	0	27	37%	59%	4%	0%	96%	A	A
教育活動に係る評価	生徒指導	19 生徒が高校生らしい規律ある生活を送られるように指導している	11	16	0	0	27	41%	59%	0%	0%	100%	A	A
		20 頭髪・服装・身だしなみ、挨拶、言葉遣い、礼儀、マナー等については、その場で指導している	9	17	1	0	27	33%	63%	4%	0%	96%	A	A
		21 いじめ対応も含め担当生徒一人一人を把握し、学年や指導部との連携を密にして指導を進めている	10	16	1	0	27	37%	59%	4%	0%	96%	A	A
		22 本校の生活規律についての指導を生徒や保護者へ理解させている	7	17	3	0	27	26%	63%	11%	0%	89%	A	A
教育活動に係る評価	特別活動	23 学校行事への生徒の意識向上を図るとともに、部活動や学校行事等へ積極的に参加している	14	9	3	1	27	52%	33%	11%	4%	85%	A	A
		24 生徒会活動や委員会活動、部活動等で、生徒自らが計画を立案し、課題への迅速な対応を図れるように指導している	7	15	5	0	27	26%	56%	19%	0%	81%	A	A
教育活動に係る評価	教育戦略	25 挨拶・礼儀指導を基本とする学力向上教育や特色等を様々な機会を通じて中学校等へアピールしている	4	15	6	2	27	15%	56%	22%	7%	70%	B	A
		26 より魅力ある授業づくりを意識して授業改善に取り組んでいる	5	18	4	0	27	19%	67%	15%	0%	85%	A	A
		27 学校広報の一環としてのホームページ、学級だよりなど、さまざまな発信をしている	4	12	8	3	27	15%	44%	30%	11%	59%	C	D
学校運営	信頼される学校づくり	28 生徒が本校に入学してよかったと思う学校づくりに努めている	8	16	3	0	27	30%	59%	11%	0%	89%	A	A
		29 生徒の高校生活が充実するように一人一人に目を向け指導している	10	15	2	0	27	37%	56%	7%	0%	93%	A	A
		30 担任として、担任生徒全員との個別面談を実施している(2回以上)	11	9	3	4	27	41%	33%	11%	15%	74%	B	A
	組織運営	31 懇談会や懇親会を含めて保護者との協力関係構築に努めている	10	12	5	0	27	37%	44%	19%	0%	81%	A	B
		32 生徒・保護者に必要な情報を積極的かつ十分に提供している(学級・分掌・部活動等)	7	17	2	1	27	26%	63%	7%	4%	89%	A	B
		33 今年度の学校目標(スクール・ミッションやスクール・ポリシーを含む)や分掌、学年等での重点目標等を理解して実践している	3	19	5	0	27	11%	70%	19%	0%	81%	A	A
資質向上	資質向上	34 iPad、電子黒板等、ICT機器の活用推進がなされている	14	9	4	0	27	52%	33%	15%	0%	85%	A	B
		35 各種研修への参加や校内研修等で研修を深める努力を行なっている	5	11	10	1	27	19%	41%	37%	4%	59%	C	C
		36 校内で研修成果の報告や活用を努めている	3	14	7	3	27	11%	52%	26%	11%	63%	C	C

## 令和5年度教職員自由記載 〔編集の関係で、文言調整等を行っています。〕

生徒たちに課している決まりやルールについて、今の時代にそぐわない場合が多くなってきたように感じる。生徒たちの意見を聞かずに頭ごなしの指導になっていることが生徒たちの学校に対する不信感に繋がっていると思う。

教育とは難しい。力不足を感じる。

休校連絡の出し方をもう少し検討すべき5時には起きて登校の用意をしはじめる生徒もいる。前日～当日6時には休校連絡を出してあげるよう工夫してはどうか。教員が学校に集まってから話し合いをしたり、生徒たちに委ねるようなやり方は絶対に良くないと思う。私立であることを活かし、もう少し臨機応変に対応してもらいたい。

業務の効率化をさらに進め、生徒へしっかり向き合う時間を確保することが必要かと思えます。同時に、人的拡充要望（スクールカウンセラーをふくめて）を引き続きお願いいたします。プログラム選択希望とクラス編成の難しさを痛感しています。クラス毎にプログラムを分けるのではなく、一部共通科目以外を全クラス選択制として、生徒の希望をできる限り叶えることができるカリキュラム編成を模索することも、今後必要かもしれません。

以下、保護者懇談において指摘がありました。

・インフルやコロナによる学級閉鎖、大雨・大雪による休校などに関する判断が毎回後手後手で遅すぎる。JRがどの程度運休したら休校にするなどご家庭でそれぞれ確認できるような基準を事前に決めておいた上で遅くとも午前6時には連絡すべきだと思います。せっかくBLENDやロイロなど生徒や保護者に連絡する手段があるのに、利用がうまくいっていないという印象を与えているようです。これに関しては私も同意見です。

・校則が時代に合っていないものがある。明清高校時代の名残で、例えば入室許可証や感染証明書などがないと勝手に外出する生徒や虚偽の感染を報告する生徒がいたのかもしれないが、今の附属高校の生徒はどこで見かけても礼儀正しくいい子たちばかりなのに、そんなに生徒や保護者が信用できないのか。という残念な気持ちになるという指摘でした。これに関しては、少しやり過ぎな部分はあるように思います。しかし、念には念をという考え方であれば、正しい行動をしている生徒にとってはストレスをかけることにはなりません。仕方がないことかなとも思います。※以前は遅延証明がある場合、入室許可証は不要でしたが、昨年度あたりから必要になっています。これは職員室の混雑の解消のためにも明清高校の頃に戻したほうが良いのではないかと思います。

過労死につながるような勤務時間を解消するためにも、人手（非常勤講師ではなく）をきちんと確保してほしい。

授業：生徒を飽きさせない工夫として、様々なアイテムを使い授業展開を心がけているが、クラス全員を乗せる理想的な授業には到達できていない。それでも、定期考査などでは少しずつ初見問題を解ける力がついてきていると実感できる点は喜ばしい。

部活動：選手一人一人がi-pad等を活用して動作解析を行って互いの動きを指摘しあうなど、今までには見られなかった自発的な練習風景が見られてきている。チームとしても着実に実力がついてきているが、まだ少し浮足立っている雰囲気があるので、地に足付けたチームに成長してもらいたい。

分掌（総務）：資料請求等滞りなく行えた。中学校へのPRも例年以上に意識した。その他：年度末反省会議の前に、アンケート形式で各分掌への意見要望などを出す機会があるといいと思います。

スポーツ特待の生徒で学習する姿勢が良くない生徒がいる。教科の指導力不足であると思うが、部活動内でもより指導が必要に思う。今年度から始めたスポーツ推薦についても、追跡調査をし学習意欲のないものが多いようであれば再考することも必要と感じる。

常勤講師の数が少ない。週に18コマも授業が入っている状況では通常業務をすることが難しい。非常勤講師である時間講師の持ち時数も少なくはないので、検討をお願いしたい。教員の勤務年数について働きかけをしてほしい。

# 令和5年度学校評価【生徒アンケート 全学年全学科】

合計:素点		在籍	479	回答	469	回答率	98%	4	3	2	1	合計	平均
評価項目								そう思う	だいたい そう思う	あまり思 わない	そうは思 わない		
学校全般について	1	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった						114	236	81	38	469	2.9
	2	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている						155	245	46	23	469	3.1
	3	学校の校舎や設備に満足している						96	186	109	78	469	2.6
	4	教育活動の内容や取組について十分伝えられている						95	263	77	34	469	2.9
	5	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う						135	268	40	26	469	3.1
	6	セレクト/プログラム制導入の授業カリキュラムに満足している						152	218	69	30	469	3.0
	7	先生たちは、スコラ手帳の活用について指導している						100	172	110	87	469	2.6
	8	ICT環境(iPadの貸与、電子黒板、BLEND、ロイノート、LeaningBox等)には満足している						209	214	30	16	469	3.3
学習について	9	宿題や課題は適切な量が出されている						175	236	35	23	469	3.2
	10	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている						154	256	45	14	469	3.2
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる						132	232	80	25	469	3.0
	12	学習面での努力や成果を適切に評価している						131	267	54	17	469	3.1
	13	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している。						145	263	45	16	469	3.1
進路指導について	14	生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している						149	235	59	26	469	3.1
	15	進路について必要な情報は得ることができている						137	242	71	19	469	3.1
	16	進路に関する面談はよく行われている						137	218	93	21	469	3.0
生活指導について	17	時間を守り、欠席・遅刻をしていない						273	153	26	17	469	3.5
	18	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている						202	202	42	23	469	3.2
	19	本校は、挨拶や礼儀作法指導を真剣に取り組んでいる						196	206	44	23	469	3.2

各評価項目の評価結果は、4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

合計:%		在籍	479	回収	469	回収率	98%	4	3	2	1	評価
評価項目								そう思う	だいたい そう思う	あまり思 わない	そうは思 わない	
学校全般について	1	北海道文教大学附属高等学校に入学してよかった						24%	50%	17%	8%	B
	2	雰囲気良く、楽しく学校生活を送っている						33%	52%	10%	5%	A
	3	学校の校舎や設備に満足している						20%	40%	23%	17%	C
	4	教育活動の内容や取組について十分伝えられている						20%	56%	16%	7%	B
	5	先生たちは、熱心に教育活動に取り組んでいると思う						29%	57%	9%	6%	A
	6	セレクト/プログラム制導入の授業カリキュラムに満足している						32%	46%	15%	6%	B
	7	先生たちは、スコラ手帳の活用について指導している						21%	37%	23%	19%	C
	8	ICT環境(iPadの貸与、電子黒板、BLEND、ロイノート、LeaningBox等)には満足している						45%	46%	6%	3%	A
学習について	9	宿題や課題は適切な量が出されている						37%	50%	7%	5%	A
	10	先生たちは、教材や教え方に様々な工夫をしている						33%	55%	10%	3%	A
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる						28%	49%	17%	5%	B
	12	学習面での努力や成果を適切に評価している						28%	57%	12%	4%	A
	13	学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している。						31%	56%	10%	3%	A
進路指導について	14	生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している						32%	50%	13%	6%	A
	15	進路について必要な情報は得ることができている						29%	52%	15%	4%	A
	16	進路に関する面談はよく行われている						29%	46%	20%	4%	B
生活指導について	17	時間を守り、欠席・遅刻をしていない						58%	33%	6%	4%	A
	18	本校は、校則(服装・交通安全等)を守る指導及びいじめを許さない指導をしている						43%	43%	9%	5%	A
	19	本校は、挨拶や礼儀作法指導を真剣に取り組んでいる						42%	44%	9%	5%	A

# 令和5年度学校評価【保護者アンケート 全学年】

合計:素点		在籍	479	回答	326	回答率	68%	4	3	2	1	合計	平均
		評価項目						そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そうは 思わない		
学校全般について	1	子供が本校に入学してよかった						147	149	23	6	325	3.3
	2	子供は本校の学校生活に満足していると思う						97	184	36	9	326	3.1
	3	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている						51	194	71	10	326	2.9
	4	先生たちは、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う						117	164	36	9	326	3.2
	5	本校の教育指導には満足している						74	197	44	11	326	3.0
	6	本校の教育理念や指導方針(スクール・ポリシー等を含む)が理解できている						41	202	75	8	326	2.8
	7	保護者と教職員の協力関係がしっかり築けていると思う						50	187	77	11	325	2.8
	8	BLENDIによる連絡・通知は重宝している						202	109	12	2	325	3.6
学習について	9	子供は、日常的に家庭学習時間を確保している様子がうかがえる						46	131	122	26	325	2.6
	10	成績等学習状況に関する情報は得ることができている						82	198	41	4	325	3.1
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う						67	171	79	8	325	2.9
	12	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている						71	222	28	4	325	3.1
	13	本校の学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している						67	212	42	3	324	3.1
進路指導について 生活指導について	14	本校は生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している						110	175	36	4	325	3.2
	15	進路について必要な情報は得ることができている						50	189	77	9	325	2.9
	16	学校・担任に進路に関する相談はしやすいと思う						90	169	51	16	326	3.0
	17	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている						115	187	19	5	326	3.3
	18	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている						94	191	31	9	325	3.1
	19	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる						97	166	45	17	325	3.1

質問調査 ○を付けてください。

	はい	いいえ	合計
20 本校のホームページを利用したことがある	228	98	326
21 子供から進路に関する相談を受けることがよくある	291	35	326
22 子供の進路目標を理解し、協力している	309	15	324
23 交通機関の利用などの交通マナーやスマホ利用について、家庭で厳しく指導している	255	69	324
24 子供の身だしなみ(服装・頭髪)に関して、家庭での躰には厳しい方だ	190	135	325
25 PTA活動(進路講演会・個人懇談・学級懇談会等)には積極的に参加している	108	217	325

各評価項目の評価結果は、4+3が80%以上をA、70%以上をB、45%以上をC、45%未満をDとする。

合計:%		在籍	479	回収	326	回収率	68%	4	3	2	1	評価
		評価項目						そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	そうは 思わない	
学校全般について	1	子供が本校に入学してよかった						45%	46%	7%	2%	A
	2	子供は本校の学校生活に満足していると思う						30%	56%	11%	3%	A
	3	教育活動の内容(進路・行事等)や取り組み状況が保護者によく伝わっている						16%	60%	22%	3%	B
	4	先生たちは、熱心に部活動・学校行事等に取り組んでいると思う						36%	50%	11%	3%	A
	5	本校の教育指導には満足している						23%	60%	13%	3%	A
	6	本校の教育理念や指導方針(スクール・ポリシー等を含む)が理解できている						13%	62%	23%	2%	B
	7	保護者と教職員の協力関係がしっかり築けていると思う						15%	58%	24%	3%	B
	8	BLENDIによる連絡・通知は重宝している						62%	34%	4%	1%	A
学習について	9	子供は、日常的に家庭学習時間を確保している様子がうかがえる						14%	40%	38%	8%	C
	10	成績等学習状況に関する情報は得ることができている						25%	61%	13%	1%	A
	11	本校は、学力向上や資格取得に取り組んでいる学校であると思う						21%	53%	24%	2%	B
	12	子供の学習面での努力や成果が、適切に評価されている						22%	68%	9%	1%	A
	13	本校の学習指導体制(対面授業、ICTを活用した授業、講習等)には満足している						21%	65%	13%	1%	A
進路指導について 生活指導について	14	本校は生徒の進路実現のためにドリカムルームの設置など、努力している						34%	54%	11%	1%	A
	15	進路について必要な情報は得ることができている						15%	58%	24%	3%	B
	16	学校・担任に進路に関する相談はしやすいと思う						28%	52%	16%	5%	B
	17	子供は時間を守り、高校生らしい規律ある生活を送っている						35%	57%	6%	2%	A
	18	本校は、身だしなみ(頭髪・服装)、挨拶、礼儀、交通安全、いじめ対応等の指導が行われている						29%	59%	10%	3%	A
	19	服装・頭髪等、本校の指導方針には理解・納得できる						30%	51%	14%	5%	A

質問調査 ○を付けてください。

	はい	いいえ
20 本校のホームページを利用したことがある	70%	30%
21 子供から進路に関する相談を受けることがよくある	89%	11%
22 子供の進路目標を理解し、協力している	95%	5%
23 交通機関の利用などの交通マナーやスマホ利用について、家庭で厳しく指導している	79%	21%
24 子供の身だしなみ(服装・頭髪)に関して、家庭での躰には厳しい方だ	58%	42%
25 PTA活動(進路講演会・個人懇談・学級懇談会等)には積極的に参加している	33%	67%

令和6年(2024年)3月29日  
北海道文教大学附属高等学校

学校関係者による評価結果について

## 1 令和5年度学校関係者評価委員会

(1) 日時 令和6年3月18日(月) 16:00~17:00

(2) 場所 会議室

(3) 出席者 ア 学校関係者

地域住民 中村 忠司 様

地域企業等 溝 弘 様

同窓会関係 阿部 順子 様

PTA関係 石上 一美 様(欠席)

教育関係 吉本 浩志 様(欠席)

イ 学校教職員

校長 佐々木淑子

教頭 吉田 聡

事務長 石丸 朝生

総務部長 浜本 裕

教進部長 渋谷 剛弘

指導部長 有野 靖弘

情報部長 岡部 洋輔

## 2 学校関係者評価から明らかになった改善課題等

- (1) 各領域・項目とも自己評価は概ね適切といえる。第3学年の満足度が、昨年度(第2学年)に引き続き低い結果となっている。入学時からコロナ禍真ただ中の新校舎1年目、教職員も生徒たちも手探りで慣れないことばかりの状況、これまで普通にできていたことができないという状況を踏まえると、しかたがなかったともいえる。第1、第2年は概ね満足度が高いが、コロナ禍も落ち着き、新校舎での高校生活や学習が軌道に乗ってきたようである。今後とも一人一人の可能性を伸ばすために、丁寧な学習指導や行き届いた生徒指導を一段と進めていくこと。
- (2) 北海道高校ガイドブック(道コン)によると、明清高校時代に比べ偏差値も上がり、選ばれる学校になってきたとのこと。学力向上はもちろん大切だが、ボランティアも含め地域との交流等をさらに推進し、人間力も成長させること。交流等は継続・発展させることが大切である。また、交流等は多様性を認めることの重要性を知る機会にもなっている。こいうった機会を通して、固定観念を払拭することの必要性も理解させて欲しい。
- (3) 令和5年度のグランドデザイン(スクールミッション、スクールポリシー)についてはトップダウンではなく、先生方の意見を吸い上げるなどボトムアップで作成しているという点に納得がいく。



- (4) 学校祭（F高祭）の様子を参観した際、「ネットトラブル防止講話のときの先生ですよね」と生徒たちが声を掛けてきてくれた。コロナ禍で社会性や集団性がうまく育っていないといった指摘もあるが、本校の生徒たちの様子を見ているとコミュニケーション力が高いと感じる。昨今、「こんにちは」を素直に言えない子供たちが少なくない。本校の生徒たちは頭を下げてきちんと挨拶してくれる。女性校長ならではのきめ細かい指導の賜物ではないかといつも感心している。これからも生徒たちの健やかな成長を期待する。
- (5) 本校食物科は様々なコンテストに挑戦し、実績も重ねている。今後も新たな取組を構想しているとのことだが、北海道文教大学には人間科学部健康栄養学科があるので、相互の連携を図ることで相乗効果も期待できる。
- (6) 寮生のメンタルヘルスは課題である。寮の運営者の協力のもと、食堂では生徒たち同士が対話する場面を意図的に作り、個別対応として担任や養護教諭が寮生の相談役を担うなど具体的に動くこと。
- (7) 今の生徒たちは、放課後学習や部活動などで時間的に余裕がないと聞く。それぞれの生徒がうまく時間をつくり、メリハリのある学校生活を送れるような仕掛けを先生方と考えていく必要がある。
- (8) 高齢者が増えてきたため、町内会の行事では運営面でも課題が出ている。植栽のボランティアも老人クラブで運営しているが、若い人たちの手伝いがあると助かる。ボランティア部や園芸部にも遠慮なく声を掛けていきたい。
- (9) 冬の歩道における歩行マナーについて近隣住民からの苦情があったということだが、高校生が集団で歩くのは通学時間や下校時間など限定的ではあると理解している。恵庭駅周辺に元気のある若い人たちが増えていることは、肯定的にとらえている。今後とも苦情には誠実に対応し、生徒たちに粘り強くルールやマナー、モラル、エチケットなどの指導を期待する。
- (10) 教育現場がブラックと言われて久しいが、そもそも教員になる人が減っているとしたら心配である。今の進学先は、学科等が細かすぎはしないか。その学科が、生徒の将来に本当につながれば良いのだから。鶴岡先生は、将来を長い目で見、将来の選択の幅を広げるという観点から、調理師だけでなく教員免許等を取得することも勧めていた。生徒たちに視野を広げるための機会を提供する進路指導を推進すること。
- (11) 令和6年度の夏も暑そうだが、少しでも良い方向に生徒たちの学習環境を整備すること。校長の諮問機関である「暑さ対策検討委員会」を立ち上げ、令和6年度に向けて簡易クーラーの設置やジャージ登校、学園学則の改正による夏季休業期間の延長など具体的な対策の検討を重ねていることは評価できる。